



平成 25 年 1 月 25 日

各 位

会 社 名 日本マニファクチャリングサービス株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 小野 文明
 コード番号 2 1 6 2
 問 合 せ 先 常務取締役執行役員コーポレート本部長 末廣 紀彦
 電 話 番 号 03 (5333) 1711 (代表)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向、当社を取り巻く環境変化を踏まえ、平成24年5月15日に発表しました業績予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

平成 25 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	45,000	1,000	1,050	500	4,627 円 27 銭
今回修正予想 (B)	39,000	420	550	240	2,347 円 42 銭
増減額 (B - A)	△6,000	△580	△500	△260	—
増減率 (%)	△13.3%	△58.0%	△47.6%	△52.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	31,832	251	266	1,356	13,552 円 23 銭

平成 25 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	15,000	480	250	2,313 円 64 銭
今回修正予想 (B)	12,500	50	20	195 円 62 銭
増減額 (B - A)	△2,500	△430	△230	—
増減率 (%)	△16.7%	△89.6%	△92.0%	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 3 月期)	12,902	216	87	878 円 50 銭

(注) 上記予想は、現時点において入手し得る情報を基に作成されたものであり、実際の業績は、様々な要因によって異なる結果に至る可能性があることを予めご承知おきください。

2. 修正理由

平成25年3月期（平成24年4月1日～平成25年3月31日）の業績予想については、円高が是正されつつあり、一転円安方向に推移しておりますが、長引いた円高、欧州債務危機を発端とした世界経済の減速、また中国経済の減速等により、当社グループのクライアントであるメーカー各社においては国内生産が縮小傾向にあり、また調達地、生産地、消費地のあるべき姿を見据え、為替動向、労働賃金、カントリーリスク等を総合的に勘案し、生産拠点の国際的分散体制の確立を検討しております。

そのような環境下において当社グループのI S事業では当初予想していた通りの事業規模の拡大には至らず、生産調整による人員調整コストの発生、またメーカー各社からのコストダウン要請が発生することとなりました。C S事業においては、新規大型案件の獲得には至らず、主力の家庭用ゲーム機、携帯電話の修理ビジネスにおいても厳しい事業環境下でこれまでのような事業成長を確保することができませんでした。EMS事業においては、平成25年3月期の第2四半期累計期間においては本年4月に設置したグループ横断的営業戦略組織が機能し、重要顧客（キアアカウント）に対する本社営業を精力的に進めてきた結果、新規受注の獲得に至り順調な業績推移であったものの、昨年が発生した反日デモは、当該事業において軽微ながらも影響を及ぼすこととなりました。

以上により、平成24年5月15日に公表した業績予想数値を下回る見込みとなりましたので、記載の通り修正いたします。

なお、この業績予想修正に伴う配当予想の修正はありません。

当社グループは、クライアントであるメーカー各社のグローバルな生産分業体制へのシフトに伴い、すでにグループリソースを最大限に活用し、事業戦略を遂行しております。

中国においては反日デモ発生により、メーカー各社は中国における労働賃金の上昇に加え、デモ活動等の労働争議への対応に窮しており、当社子会社である北京中基衆合国際技術服務有限公司の提案する製造派遣、請負事業への関心が高まる傾向にあります。またC h i n a + 1といわれるA S E A N諸国においては、マレーシアでは子会社であるTKRグループ、志摩グループの製造拠点が3拠点ありEMS事業を展開しております。ベトナムでは、NMSインターナショナルベトナム有限会社において製造請負事業、ベトナム進出企業支援サービスを展開し、先を見据えた事業展開を進めております。

以 上